

公園と庭に見られるチョウ類の研究

～チョウ類・食草・天敵(鳥類)の種類と分布～

沖縄市立山内小学校

5年 新垣李珠佳 3年 新垣芽音佳

1. 研究の動機

シジミチョウは家の庭や近くの沖縄市総合運動公園でよく見かける。シジミチョウを中心として、家の庭と沖縄市総合運動公園に見られるチョウ類と、それらの保護のための手がかりをつかむため、チョウ類・食草・天敵の種類や分布を研究することにした。

2. 目的・予想・方法

(1) 沖縄市総合運動公園では、シジミチョウとそのほかのチョウ類は何種類ぐらい見られるだろうか。また、どの種類が多いだろうか。

《予想》

公園は広いから、15種類は見られると思う。

《調査方法》

1) 沖縄市総合運動公園の2kmのジョギングコースを歩きながら、コースの左右で見られるチョウの種類と数を数える。

2) 調査日は、7月9日、7月16日、7月17日、7月23日、7月30日、8月14日に行った。

『調査場所』

- ①陸上競技場と体育館の間
- ②テニス場近く
- ③球場電光掲示板側周辺
- ④球場入口側周辺、以上の4ヶ所で調査を行った。

(2) 沖縄市総合運動公園ではシジミチョウと数の多い種類(3種類)の分布はどうなっているだろうか。

《予想》

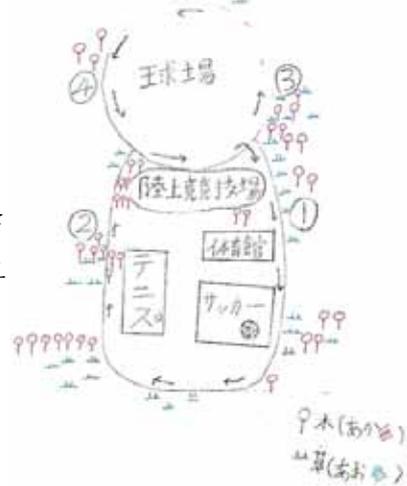
①陸上競技場と体育館の間、②テニス場近く、③球場電光掲示板側周辺は木や下葉などがあるから多いと思う。

《調査方法》

1) 調査時に調査地図にチョウ類の名前と数を記録する。調査結果から、3種類の数をそれぞれの場所ごとに整理し、表とグラフを作成する。

2) 見かけたチョウの種類を、図鑑を参考にしてスケッチする。

(3) 調査日ごとの沖縄市総合運動公園におけるチョウの種類と数はどうなっているだろうか。



《予想》

日によって見られるチョウの種類と数は違うと思う。

《調査方法》

沖縄市総合運動公園の2 kmのジョギングコースを歩きながら、見られたチョウの種類と数を調査地図に記録する。

(4) 家の庭と、2階のピロティーではシジミチョウとそのほかのチョウ類は何種類ぐらい見られるだろうか。公園と比べるとどうだろうか。

《予想》

近くの駐車場の場所にアパートが造られ、木や草などが多く切られたので、チョウ類が少なくなっていると思う。

《調査方法》

庭とピロティーの2ヶ所で観察する場所は同じ所(定点調査)で15分間観察し、見かけたチョウ類の種類と数を数え調査表に記録する。

(5) 沖縄市総合運動公園や庭とピロティーで見られたシジミチョウやそのほかのチョウ類(ツマグロヒョウモン、アオタテハモドキ)の幼虫の食草は何だろう。分布はどうなっているだろうか。

《予想》

沖縄市総合運動公園に生えている植物の中にあると思う。

《調査方法》

- 1) 沖縄市総合運動公園で見られたチョウ類の食草をチョウの図鑑で調べる。
- 2) 食草がたくさんある場合は公園にありそうな代表的な植物の名前を載せる。

(6) 沖縄市総合運動公園でシジミチョウ、ツマグロヒョウモン、アオタテハモドキの予想される天敵(鳥類)は何種類ぐらいいるだろうか。また、調査場所①から④での分布はどうなっているだろうか。

《予想》

スズメやハトの2種類ぐらいしかいないと思う。

《調査方法》

- 1) 鳥類の種類は、望遠鏡で観察してスケッチし、図鑑で調べる。よく分らない種類の見分け方は、鳥獣保護員をしていたおじいちゃんに教えてもらう。
- 2) 公園で見られる鳥類の食物を図鑑で調べ、チョウ類の予想される天敵とした。
- 3) 沖縄市総合運動公園の2 kmのジョギングコースを歩きながら、コースの左右で見られる鳥類の種類と数を記録する。

3. まとめ

(1) 異なる 6 日間の調査の結果、確認できたチョウの種類は 10 種類だった。5 日間で 1 番多かったのはシジミチョウで 187 匹(56.0%)、2 番目に多かったのはツマグロヒョウモンで 64 匹(19.2%)、3 番目に多かったのはアオタテハモドキで 33 匹(9.9%)だった。全体を 100 とすると、この 3 種類の合計は 85.1%だった。

	7月9日	7月16日	7月17日	7月23日	7月30日	8月14日	合計	平均	パーセント
シジミチョウ	8	23	27	23	10	96	187	31.2	56.0%
ツマグロヒョウモン	4	6	13	19	0	22	64	10.7	19.2%
アオタテハモドキ	0	1	1	0	15	16	33	5.5	9.9%
キチョウ	3	3	10	7	0	8	31	5.2	9.3%
シロオビアゲハ	0	1	0	1	0	6	8	1.3	2.4%
モンシロチョウ	0	0	0	2	0	4	6	1.0	1.8%
ナガサキアゲハ	0	0	0	0	0	2	2	0.3	0.6%
セセリチョウ	0	0	0	0	0	1	1	0.2	0.3%
ムモンウスキチョウ	0	0	0	0	0	1	1	0.2	0.3%
アオスジアゲハ	0	0	0	1	0	0	1	0.2	0.3%

表1 6日間における調査結果(沖縄市総合運動公園)

(2) 公園で多いチョウの分布をみてみると、シジミチョウは②テニス場近くの場所に多く周辺には野花が広がっていた。ツマグロヒョウモンは①陸上競技場と体育館の間、②テニス場近くに多く、アオタテハモドキも同じ場所に多くいることが分った。

(3) 沖縄市総合運動公園におけるチョウの種類と数がどうなっているかを調べた。シジミチョウはどの日にも多くみられたが、ツマグロヒョウモンとアオタテハモドキは日によって違っていた。その他にもキチョウ、シロオビアゲハ、モンシロチョウなどが確認できた。

(4) 家の庭と 2 階のピロティーで見られたチョウは 7 種類だった。1 番目に数が多いのは、シジミチョウ 14 匹(37.7%)、2 番目に多いのはムモンウスキチョウ 6 匹(16.2%)、3 番目に多いのはキチョウ 5 匹(13.5%) だった。数は少ないが種類が多くみられた。公園と比べると種類数は公園が 10 種類で庭とピロティーでは 7 種類だったから、庭とピロティーでは意外と多くの種類が確認できた。

(5) 沖縄市総合運動公園や庭とピロティーで見られるチョウ類の幼虫の食草を図鑑で調べ、シジミチョウがカタバミ、ツマグロヒョウモンがスマレ、アオタテハモドキがオオバコであることが分った。そこで沖縄市総合運動公園でカタバミ、スマレ、オオバコの分布を調べた結果、オオバコとカタバミは多く見られたが、スマレは少なかった。

数の多いチョウの種類



シジミチョウ



アオタテハモドキ



ツマグロヒョウモン

食草



カタバミ



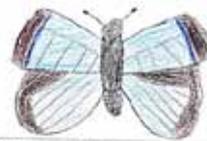
オオバコ



スミレ



ゴフトシジミチョウ



ツマグロヒョウモン



アオタテハモドキ



(6) 沖縄市総合運動公園でチョウの天敵と予想される鳥類は6種類見られた。数で見ると1番目に多いのがメジロで126羽(56.5%)、2番目に多いのがヒヨドリ 57羽(25.6%)、3番目に多いのがイソヒヨドリ 19羽(8.5%)だった。数を割合で見ると①から④のどの場所も同じくらいで、ほとんど差がなかった。

メジロ



ヒヨドリ
イソヒヨドリ



ヒヨドリ
イソヒヨドリ



【出品状況】

第54回 中部地区児童・生徒科学作品展 金賞

第57回 沖縄県児童・生徒科学作品展 優良賞